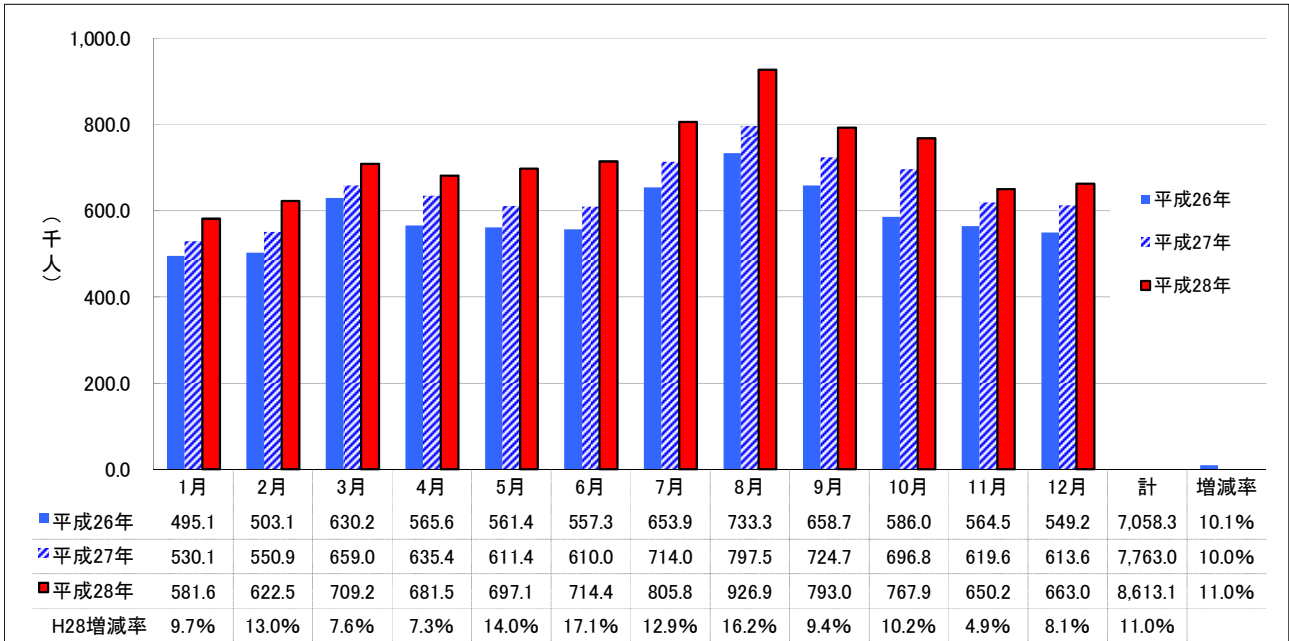


# 平成 28 年（暦年）沖縄県入域観光客統計概況

文化観光スポーツ部 観光政策課  
平成 29 年 1 月発表

**平成 28 年（暦年）の観光客数は、861 万 3,100 人で過去最高**  
対前年（H27）比 +85 万 100 人、+11.0%

## ■月別入域観光客数の推移（平成 26 年～平成 28 年）



## ■平成 28 年（暦年）の概況（総括）

平成 28 年（暦年）の入域観光客数は 861 万 3,100 人で、前年比で 85 万 100 人、率にして 11.0% の増加となり、4 年連続で国内客・外国客ともに過去最高を更新した。外国客においては初の 200 万人台を記録した。

昨年に続き、月別では、全ての月において前年同月を上回るとともに、各月の過去最高記録を更新した。

前年と比べて増加した要因は次の通りと考えられる。

- 官民あげてのプロモーション活動により、沖縄の認知度向上や旅行意欲の喚起を図ったこと
- 関係機関及び民間事業者と連携した受入体制整備の取組により、満足度向上等に努めたこと
- 国内航空路線の拡充による国内客の増加
- 海外航空路線の拡充・クルーズ船の寄港回数増による外国客の増加

## ■平成 29 年の見通し

景気は緩やかな回復基調にあることや、各航空会社による航空路線拡充の動きがあることから、国内観光地との競合が想定されるものの、国内旅行市場は堅調に推移するとみられる。

また、外国客については、2 月に新規路線となるタイ・バンコクー那覇間において LCC による就航予定があり、東南アジアからの入込増加が期待されることや、クルーズ船の寄港は好調を維持する予定となっていること等から、引き続き、好調に推移するものと見込まれる。

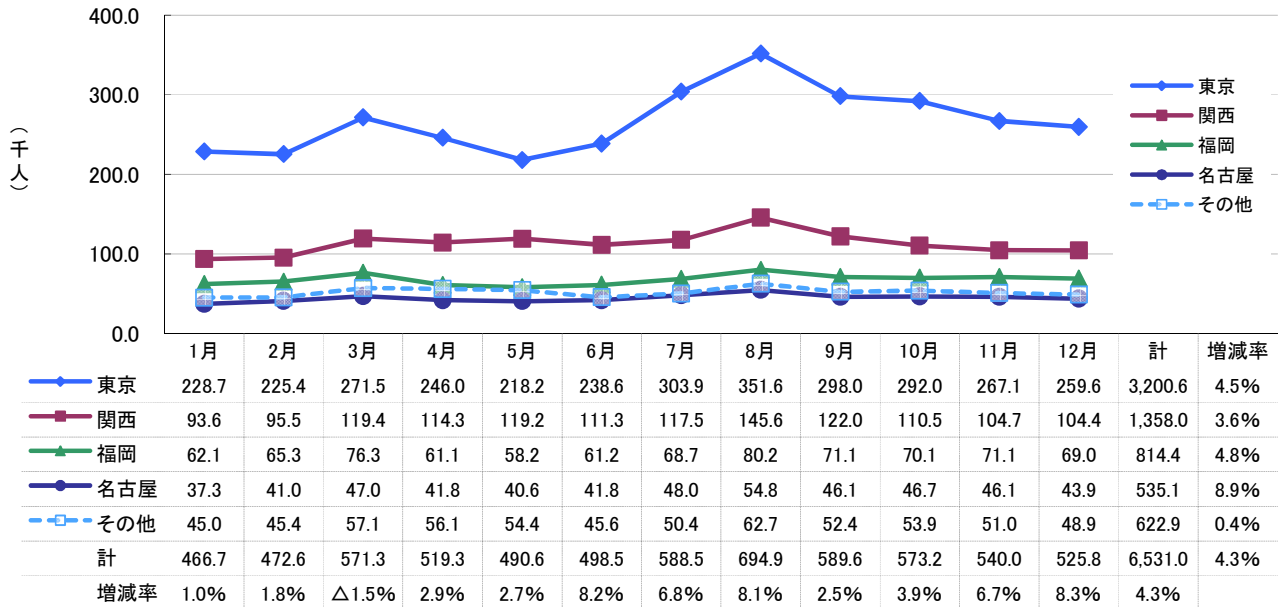
春と秋には、大規模な学術会議等が予定されており、誘客効果が期待出来る。

## 国内観光客の動向

### ■入域観光客数（国内）

平成 28 年（暦年）の国内客は、653 万 1,000 人で、対前年比で 26 万 9,200 人、率にして 4.3% の増加となり、過去最高となった。これまでの暦年における国内客の過去最高の入込は、平成 27 年の 626 万 1,800 人。

### ■平成 28 年（暦年）国内観光客の状況（方面別の月別推移）



### ■国内観光客の概況

平成 28 年（暦年）は景気回復基調が継続し、昨年と比べると台風の影響が少なかったこと等から、全体として国内旅行需要は好調に推移した。羽田－宮古路線の新規就航等の航空路線の拡充に加えて、羽田・伊丹－那覇路線や、各離島への直行便も好調であったこと等から、前年を上回った。

#### 【方面別の動向】

東京方面 羽田－那覇路線及び離島への直行便が好調であったことや、LCCによる成田－那覇線の新規就航があったこと等により、羽田・成田方面ともに前年を上回った。

関西方面 伊丹－那覇路線を中心とした航空路線の拡充や、関西から宮古・石垣への直行便がいずれも好調であったこと等から、前年を上回った。

福岡方面 4月の熊本地震の影響が懸念されたものの、福岡－那覇路線において提供座席数が増加したことにより、入込客数は好調に推移し、前年を上回った。

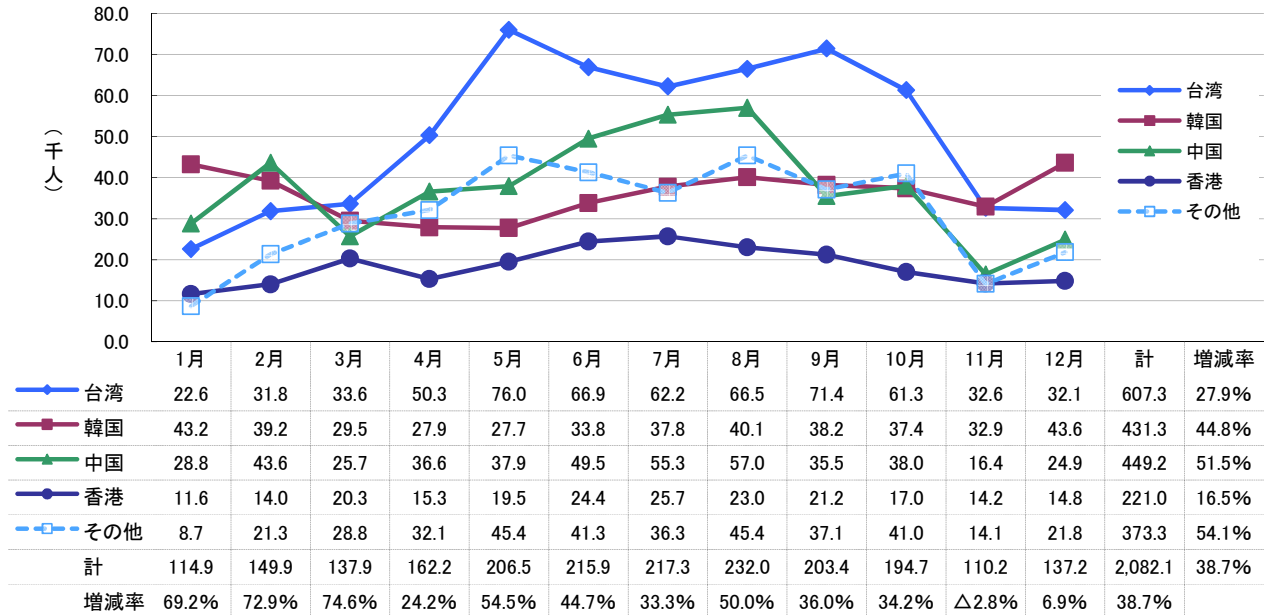
名古屋方面 名古屋－那覇路線において提供座席数が増加したことや、LCCが好調であったこと等から、前年を上回った。増加率は主要方面で最も高かった。

## 外国人観光客の動向

### ■入域観光客数（外国）

平成 28 年（暦年）の外国客は、208 万 2,100 人で、対前年比で 58 万 900 人、率にして 38.7%の増となり、国内客同様過去最高、初の 200 万人台を記録した。これまでの暦年における外国客の過去最高の入込は、平成 27 年の 150 万 1,200 人。

### ■平成 28 年（暦年）外国人観光客の状況（方面別の月別推移）



### ■外国人観光客の概況

平成 28 年（暦年）は、昨年から引き続き、訪日旅行人気が続いていることに加え、沖縄発着航空路線の新規就航および既存路線の増便があり、空路客が増加した。

また、クルーズ船寄港回数が夏場を中心に大きく増加したことにより、海路客が大幅に増加した。

#### 【国籍別の動向】

**台湾** バニラ・エアによる台北-那覇路線の新規就航やLCCの増便などの航空路線の拡充に加え、クルーズ船の寄港回数増により、空路・海路客ともに増加、過去最高であった昨年を上回り、初の 60 万人台となった。

**韓国** 大韓航空によるソウル-那覇路線の新規就航を含む航空路線の拡充により、空路客を中心に増加、過去最高を更新し、初の 40 万人台となった。

**中国本土** 南京-那覇路線の新規就航や、中国発クルーズ船の寄港回数増により、空路・海路客ともに増加、初の 40 万人台を記録し、1位の台湾に次ぐ入込となった。

**香港** 香港エクスプレスによる香港-石垣路線の新規就航や、香港発クルーズ船の寄港回数増により、空路・海路客ともに増加、過去最高を更新し、初の 20 万人台となった。